

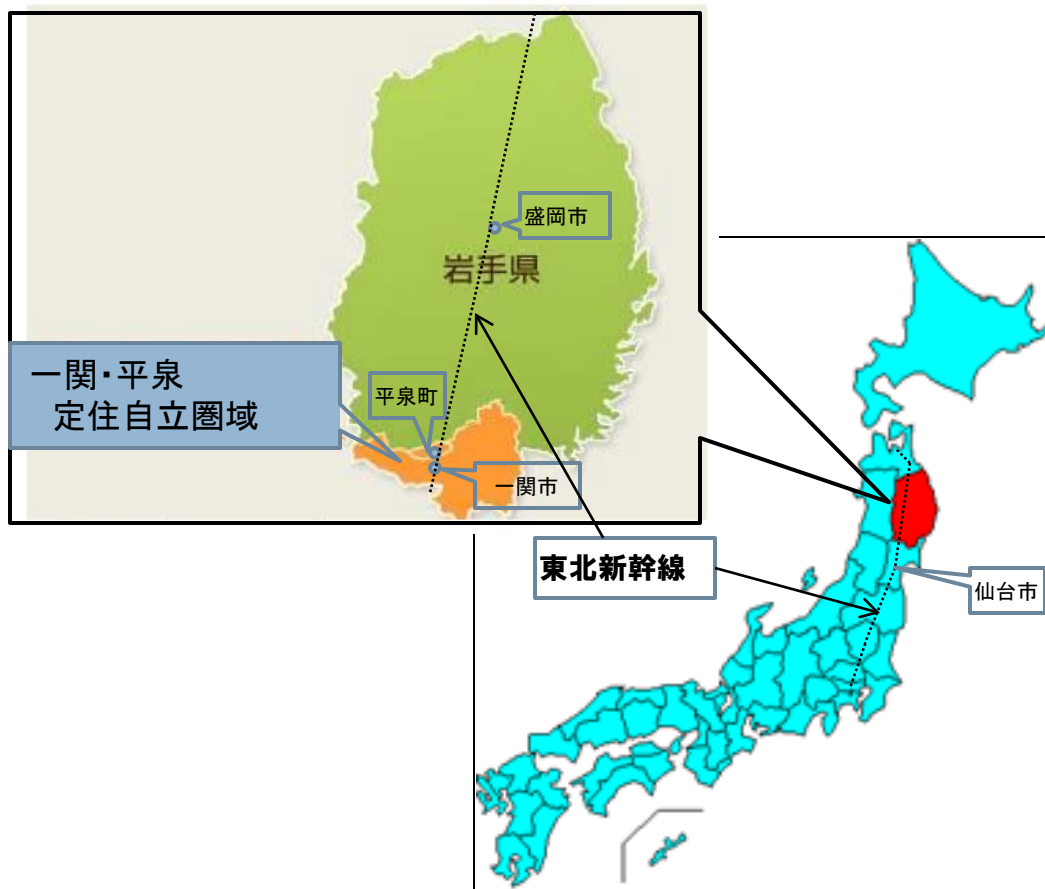
一関市における定住自立圏構想 の取り組みについて

岩手県 一関市

圏域の概要(1)

圏域の名称

一関・平泉定住自立圏



圏域の概要(2)

- 本圏域は、以前から両磐地域という名称で、行政、経済、文化の面で強いつながりを持っていた、一関市と平泉町で構成されている。
- 本圏域は、岩手県の南端に位置しており、南部は宮城県に、西部は奥羽山脈を隔てて秋田県に接している。
- 中心市である一関市は、盛岡市と仙台市のほぼ中間に位置し、東京とは新幹線で約2時間の距離にあり、古くから交通の要衝として栄えてきた地域である。

圏域構成市町の概要(1)

- 一関市
- 人口:127,642人(H22国調)
- 面積:1,256.25km²(香川県1,876.47km²)
- 概要:平成17年に1市4町2村が合併し、平成23年に1町が編入合併。



圏域構成市町の概要(2)

- 平泉町
- 人口:8,345人 (H22国調)
- 面積:63.39km²(世田谷区58.08km²)
- 概要:平成23年に、平泉の文化遺産がユネスコの世界遺産に登録されるなど、奥州藤原氏の拠点であった歴史のまち。

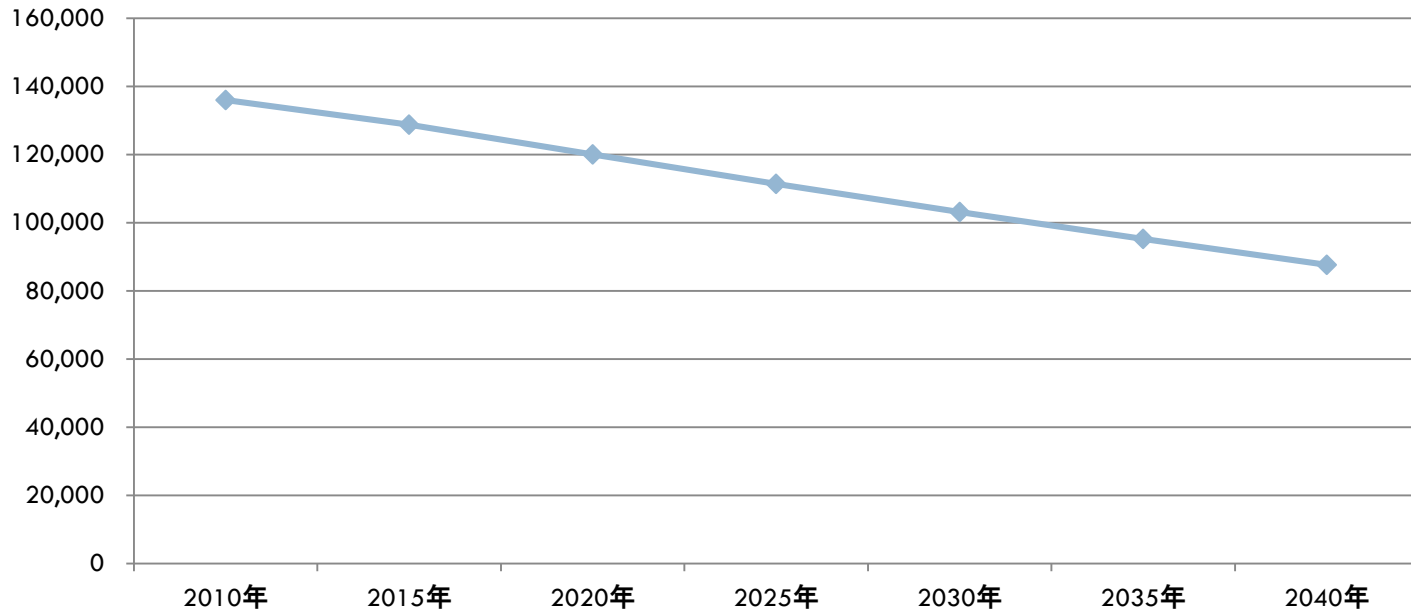


圏域の現状

出典：国立社会保障・人口問題研究所

人口推移

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
一関市	127,642	120,912	112,705	104,566	96,789	89,408	82,277
平泉町	8,345	7,828	7,319	6,802	6,303	5,822	5,333
圏域人口	135,987	128,740	120,024	111,368	103,092	95,230	87,610



定住自立圏構想に係る経過

- H25.3 両磐地区広域市町村圏協議会総会において、一関市・平泉町の両市町が、定住自立圏構想への取組を検討することを決定。

以降、両市町の事務レベルでの協議を行う。

- H25.7 両磐地区広域市町村圏協議会総会において、定住自立圏構想策定の決定。
- H25.7 一関市が中心市宣言。
- H25.9 一関市議会及び平泉町議会が定住自立圏協定について議決。

取組の内容(1)

- 定住自立圏形成協定の項目
 - 1 生活機能の強化に係る政策分野(5項目)
 - ①医療 ②福祉 ③産業振興 ④教育及び文化 ⑤消防防災
 - 2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野(4項目)
 - ①地域公共交通 ②交通インフラの整備
 - ③協働のまちづくり
 - ④地域内外の住民との交流、移住促進
 - 3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野(1項目)
 - ①中心市等における人材育成
- 具体的な事業は、今後共生ビジョン策定の中で協議していく。

取組の内容(2)

□ 想定される主な取り組み事例

1 世界遺産平泉を中心とする観光振興

2 安心して暮らせる圏域づくり

①地域保健医療体制の充実

②子育て環境の充実

③防災体制の充実

3 地域公共交通や圏域内交通インフラの整備

4 移住定住の促進

定住自立圏形成における課題

- 住民合意の形成手法
- 自治体における総合計画基本計画との整合
- 地方財政が厳しくなる中での事業の継続